

#27 (5月12日) [Laurence Hawker](#) リサーチフェロー (英・ブリストル大)

#28 (6月2日) [田島芳満](#) 教授 (社会基盤)

RECWET メンバーの活動

番号：1 水質制御技術・素材部門、2 水システム管理部門、3 国際水環境部門、4 国際下水疫学講座

【論文の発行】

- 水の再利用に関する総説論文 ([片山浩之教授¹](#), [北島正章特任教授⁴](#)ら／Water 誌, 3月10日)
- チェンマイ大学・タイ保健省オーラルヘルスセンターとの共同研究で、地下水からのフッ素除去に関する論文 ([滝沢智教授³](#)ら／TiS 誌, 3月1日)
- [北島正章特任教授⁴](#)が筆頭著者のバイオバンキングに関する論文 (Biopreserv. Biobank.誌／2月26日)
- [北島正章特任教授⁴](#)・[沖大幹教授](#) (総長特別参与／RECWET 連携教員) らの共同成果で、SDG6 世界の水と衛生へのアクセス改善に関する論文 (Sci. Rep.誌, 2月21日)
- 北京師範大学との共同研究で膜生物付着の軽減に関する論文 ([滝沢智教授³](#)ら／Sep. Purif. Technol. 誌, 2月19日) および MXene ナノシートを用いた浄水に関する論文 ([滝沢智教授³](#)ら／Appl. Catal., B 誌2月号)
- 飲料水中の臭気物質 MIB 除去のための生物学的活性炭の特性評価に関する論文 ([春日郁朗特任准教授⁴](#), [栗栖太教授²](#)ら／JWET 誌, 2月10日)
- 高湿度下における CO₂分離のための液晶ナノ構造膜に関する論文 ([加藤隆史教授¹](#)ら／Chem. Commun.誌, 2月6日)

【プレスリリース】

[北島正章特任教授⁴](#)らによる、都市下水データから病院内のコロナ患者数が推定可能とする論文 (Environ. Int.誌) が工学系研究科より [プレスリリース](#) (3月7日) され、[北海道新聞](#)・[上下水道情報 Plus](#) 等で報道

【センターメンバーが関与する主な学会・会議】

- [IWA-ASPIRE and Water New Zealand Conference & Expo](#) (9/20-10/3@ニュージーランド)
[片山浩之教授¹](#)・[北島正章特任教授⁴](#)が Programme Committee
- [The 19th Pacific Polymer Conference](#) (PPC19, 7/6-10@北九州市)
[加藤隆史教授¹](#)が高分子科学に関する本国際会議を日本に招致。実行委員長を務める。
- [IWA 22nd Health-Related Water Microbiology Conference](#) (Watermicro2025, 6/15-20@オランダ)
[北島正章特任教授⁴](#)が Scientific Review Committee

【その他の活動実績】

- [北島正章特任教授⁴](#)と [小児科学分野研究者](#)らとの共同研究成果がポスター発表 (4月20日)
- [北島正章特任教授⁴](#)らによる万博中の空港での感染症調査・国際研究が [産経新聞](#)ほか多数の地方紙に掲載 (4月6-7日)
- [栗栖太教授²](#)が微量汚染物質のスクリーニング分析に関する内容で [タイ・コンケン大学](#)にて招待講演 (3月27日)
- [滝沢智教授³](#)と [加藤隆史教授¹](#)の最終講義に関して、業界紙や SNS に [記事や写真が掲載](#) (3月23日)

- 水道基幹施設更新中の秋田県で、[滝沢智教授³](#)の関係者らとの座談会、浄水場視察、水道フォーラム基調講演が[水道産業新聞](#) 2 ページに渡り掲載 (3月20日)
- [北島正章特任教授⁴](#)が講演した、日本環境変異原ゲノム学会・[第53回大会シンポジウム2](#)について、関係者らによる[報告](#)が英文誌 G&E から発行 (3月17日)
- アジア・アフリカにおける水環境・WASH の課題解決を特集した[水環境学会誌 3月号](#)(PDF)では、[滝沢智教授³](#)が巻頭言で水と衛生の不平等を論じ、[珠坪一晃教授³](#)がタイで10年超に渡り実施した生活排水処理技術開発・実装の成果、[風間しのぶ准教授](#) (新領域/協力教員) が JICA 水道分野中核人材育成コース(2018-2024)の概要・取り組み・事後評価を報告。
- 「公益社団法人高分子学会」会誌「[高分子](#)」3月号「水と共に”生きる”」特集の巻頭で、[加藤隆史教授¹](#)が水の立場から見る高分子科学を論説。水に関する諸学問に関連づけ、統一的に水の複雑性を理解すべき、とも提案
- 日本水道新聞社 70 周年特集で[センター関係者](#)の対談記事、寄稿が多数掲載 (2月28日)
- [北島正章特任教授⁴](#)への[インタビュー記事](#)がデイリー新潮に掲載 (2月23日)
- [北島正章特任教授⁴](#)との高齢化施設における下水疫学調査の実用化に関する[共同研究開始](#)(2月20日)

【その他】

- [滝沢智先生](#)：2025.4～東京都立大学 都市環境科学研究科 特任教授。2018 年から 2024 年まで RECWET 関連講座として実施していた「[JICA 水道分野中核人材育成プログラム](#)」の第2期を展開します。
- [加藤隆史先生](#)：2025.4～信州大学特任教授として①信大アクア・リジェネレーション機構、②水環境工学研究センター信大／東大連携分室 (東大本郷キャンパス薬学部本館内)、③岡山大学特任教授として異分野基礎科学研究所の3拠点で精力的に活動を続けます。

学内関連講座の活動

【下水道システムイノベーション研究室】[リンク先](#)はいずれも PDF

- 4月1日付で、[滝沢智教授](#)に代わり[小熊久美子教授](#)が[兼任教授](#)として就任
- [加藤裕之特任准教授](#)が3月10日付[水道産業新聞](#)に上下水道の地震対策について提言
- [下水道協会誌 2月号](#)に、[滝沢智教授](#)がアセットマネジメント、[加藤特任准教授](#)が[フランスの上下一体・広域型 PPP](#)に関してそれぞれ寄稿

イベント・講演のピックアップ！ヘッドライン

【告知：[第2回国際社会水文学会議](#)】7月19-21日

社会水文学という比較的新しい分野で世界最大の[国際会議](#)が本学で開催予定。

『水分野における科学と水政策・実践をつなぐ革新的なアプローチを模索するために、社会水文学 (sociohydrology) の世界的な研究者が東京に集います』([沖大幹 実行委員長](#))。

多部署・多数の学内教員が[実行委員](#)、[Speakers](#)、論文特集号(テーマ [2](#), [3](#))編集者などに従事。

【告知：映画上映＋スペシャル対談シンポジウム 他 蔵治光一郎教授（演習林）】

- [シンポジウム「サステナ・フォレスト～森の国の守り人\(もりびと\)たち～」](#) @熊本（5月18日）
- [勉強会「豪雨時代の森林管理－山が崩れる、川が埋もれる、水が危ない－](#)」で講演。[詳細報告あり](#)（2月21日）

【バンコクで水災害と気候変動に関するシンポジウム主催 沖大幹教授ほか*】3月18日

International Symposium on Water-Related Disaster and Climate Change が東大・カセサート大学・JICA の主催で開かれ、沖教授によるストックホルム水大賞受賞記念講演があり、日・タイの研究者や行政の専門家から、気候変動適応について水文学観点からの研究、政策、現場での実践について最新動向が報告された。[報告・集合写真](#) [講演写真](#)

【カセサート大学で水文学セミナー主催 沖大幹教授、乃田啓吾准教授（農学生命）ほか*】3月17日
2nd Thai-Japan Hydrology Seminar がバンコクで開催され、沖教授による地球水文学の進展について基調講演、乃田准教授による都市化と灌漑についての講演の他、日・タイの研究者や行政の専門家から洪水や早ばつへの適応、予測や早期警報へのデータ活用など最先端の知見が報告された。[報告・集合写真](#)

* 吉田貢士教授（新領域）、沖一雄特任教授（生産研）、花崎直太客員教授（社会基盤）、木口雅司上級研究員（同）も参加

【水循環を可視化する 福永真弓准教授・坂本麻衣子准教授（新領域）】3月16日

登壇した水循環フォーラムの講演録が[日本水循環文化研究協会](#)の[機関誌](#)(PDF)で公開。「意味ある水を取り戻す」「見えるもの、見ようとするもの」と題してそれぞれ話題提供。

【[エコディストリクトに学ぶ環境志向まちづくり](#) 村山顕人教授（都市）】2月19日

まちに関わるトークイベントに登壇し、雨水マネジメントを含むエコディストリクト発祥の米国や名古屋市の取り組みを紹介

その他、水にかかわる話題ヘッドライン

【今年度の活動 古米弘明名誉教授】4月1日

中央大学研究開発機構にて 2022-2024 年度に従事した「都市雨水管理の高度化」研究ユニットが終了。[2025 年度の研究](#)はユニット責任者として「[都市水管理の共創研究](#)」を1年間継続

【洪水災害対策で国内初の協定事例 芳村圭教授（生産研）】3月31日

同教授が代表の [JST 未来創造事業](#)のもと、岡崎市と本学生産技術研究所は「[長時間洪水予測技術を用いた災害対策の推進に関する協定](#)」を締結

【[コロンブス4月号にインタビュー記事掲載](#) 溝口勝教授（農学生命）】3月26日

3.11以降、福島県飯舘村とともに歩んできた土壌物理学者が掲げる「美賢村」構想

【[鹿島財団 研究助成採択](#) 山崎大准教授（生産研/協力教員）・[下園武範](#)教授（社会基盤）】3月25日
[山崎大准教授](#)がグローバル河川モデルに関するイギリスとの国際共同研究、[下園教授](#)が海岸低地浸水に関する研究で採択(PDF)

【**東大教授たちの「超」未来予測** 小熊久美子教授（都市/協力教員、4月より RECWET・下水道システムイノベーション研究室兼任）】3月24日他

■ [academiaX](#) 動画シリーズで、他分野の研究者らと上下水道インフラの超未来を懇話 下水を再生して飲む時代に？ 水道が分散化する未来 ほか

■ [用水と廃水 3月号](#)の巻頭で、分散型水システムの未来を話題提供

【**農業用水利施設の老朽化** 高木強治教授（農学生命）】2月28日

農業用パイプライン損壊による農道陥没、漏水、トラクター転落など事故が増加傾向 効率的な保全・更新が求められると [日本農業新聞](#)に取材協力

【**森林水文学研究者に聞く** 蔵治光一郎教授（演習林）】2月10日

国内の森林保全活動に努める民間会社の記事制作協力「[緑のダムのためにできること](#)」

【**水道水にネオニコは含まれるのか？** 山室真澄教授（新領域）】2月19日

安全と信じて飲まれている水道水にどれくらいネオニコチノイド系殺虫剤が入っているか、[修論生の研究成果を論文へ](#)

【**[水道直結ウォーターサーバー](#)** 中谷隼准教授（都市/協力教員）】2月10日

Ameba チョイスのおすすめ3選記事に、ライフサイクル全体での環境負荷の視点からコメント

【**下水管腐食が起きる3要因** 佐藤弘泰教授（新領域/協力教員）】2月8日

八潮市の道路陥没事故に関して [PRESIDENT Online](#) に取材協力。東大教授が指摘する太さ・地点・乱れ

最後に

最後までご覧いただき誠にありがとうございました。

水環境等に関するイベントや、プロジェクトをご紹介ください。また、本ニュースレターにて学内研究者・関係者にお知らせしたい情報がありましたら、ぜひご連絡ください。

次回の配信は2025年6月を予定しております。「水」のセンターなので、配信日は水曜日です！

▼当ニュースレターのバックナンバー

<https://www.recwet.t.u-tokyo.ac.jp/details/newsletter.html>

工学系研究科 附属水環境工学研究センター（RECWET）

連絡先：古正裕紀 sec-recwet@env.t.u-tokyo.ac.jp

新規ご購入・配信停止はメールにて承ります。